



鉛バッテリーの平均寿命を2~4年から8~10年に!!

レイティブ ベータ

Lative beta

鉛バッテリー用機能回復剤

鉛バッテリー機能低下の主原因

「サルフェーション」*を溶解し

本来の性能を持続させ延命させる物です

※鉛バッテリーは、放電時に電極板の表面に「硫酸鉛」の結晶が発生、この現象をサルフェーション(白色硫酸鉛化)と呼んでいます。

● 新規購入の鉛バッテリーからのご使用で

⇒8年~10年の長寿命化

● 既存の鉛バッテリーからのご使用で

⇒約6年以上使用可能に

● 機能が低下し廃棄予定の鉛バッテリーも

⇒サルフェーションが原因であれば、再生し再利用

Lative beta



廃棄
鉛バッテリー
削減

コスト削減

鉛バッテリー交換サイクルが長期化する為、廃棄鉛バッテリーを大幅に削減致します。

コスト削減(SBN実施調査結果)ゴルフ場での使用例

ゴルフカート70台を保有(1台につき6台搭載)⇒420台の保有バッテリーを3年サイクルで交換

約900万円
削減成功

● 使用前経費

=合計13,650,000円/3年間
内訳:420台×32,500円
(バッテリー平均価格)

● レイティブベータ使用后経費

=合計4,536,000円/3年間
内訳:420台×3,600円(1.5mg)×3年間
※バッテリーの容量に合せ、各セルに1.5~3mgを投入

※投入時期及びバッテリーの種類によってコスト削減率は変動する為あくまでも上記は一実施例になります。

Lative beta

～レイティブベータとは～

「鉛バッテリー用機能回復剤」の事です。鉛バッテリーの廃棄削減を目的に、第一人者である小澤博士のグループが機能低下の原因である「サルフェーション」を溶解し、回復させる添加物を1997年に開発しました。

○鉛バッテリーの天敵「サルフェーション」

本来は8～10年間、使用できる鉛バッテリー。
しかし約9割が2～4年で充電できなくなり廃棄処分されています。
その原因が「サルフェーション」なのです。

「サルフェーション」は、鉛バッテリーの放電時に電極版の表面に発生、長時間使うことで増殖し、

- 電流の流れが悪くなる ●充電できなくなる
- 蓄電量が減る ●放電しにくくなる

ことから、鉛バッテリーは廃棄(交換)されます。

新品状態の電極板



2～4年後

サルフェーションが付着した電極板



使用不可
廃棄処分

○「サルフェーション」を溶解する「レイティブベータ」

そんな鉛バッテリーの天敵「サルフェーション」を溶解するのが、「レイティブベータ」です。

「レイティブベータ」を入れることで、
鉛バッテリーを8～10年間、
使用できるようになるのです。

レイティブベータ 有効鉛バッテリー

- 充放電用
(EV用、ゴルフカート用、フォークリフト用)
- エンジン始動用バッテリー

エコアクション
eco action
～鉛バッテリー廃棄削減活動～

SBNでは環境保全を呼びかける活動を行っております。

全世界の鉛バッテリーの使用個数は莫大な数で、今後も増え続けると予測されています。鉛バッテリーの廃棄を削減することで、未来の環境保全に貢献することを大きな目的としています。この活動にご賛同いただける企業を広く募集しております。



SBN株式会社

本社:茨城県守谷市立沢1945-3 4階
TEL 0297-46-3071

営業技術:千葉県柏市柏の葉5-4-6 東葛テクノプラザ604

TEL 04-7135-3511

E-Mail info@sbnsbn.co.jp

販売代理店/お問い合わせ

くわしくはWebサイトへ

レイティブベータ

検索

<http://www.sbnsbn.co.jp>